

# 札幌除雪物語

## 明治のころ

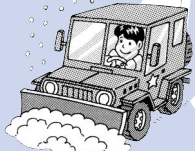
かんじきを足に付けて、道を踏み固める



三角形の板を取り付けたロシア式の馬そりで除雪

## 昭和21年

機械除雪の幕開け  
アメリカ軍から借りたブルドーザーで除雪



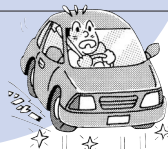
## 昭和47年

冬季オリンピックに向けて400台の除雪機械を導入  
総費用4億円



## 平成3年

スパイクタイヤ使用禁止  
ツルツル路面が発生

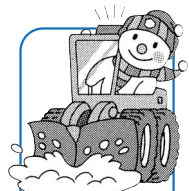


昔、町内の除雪はみんなで行っていましたが、今では市が大量の機械を投入して効率的に行っています。でもその分、費用はうなぎ上りに。過ごしやすい冬にするために、市民と行政の役割分担をしっかりと考えていく必要がありますね。

市内三十九カ所に設置された「除雪センター」は、各地区の除雪作業の拠点です。ここには、市の委託を受けた除雪事業者が常駐しています。まずは、雪対策の基本となる道路除雪について、拓北・あいの里地区除雪センターの椎木保センター長にお話を聞きました。



拓北・あいの里地区除雪センター  
しいぎ たもつ 椎木 保センター長



## 除雪作業の最前線 夜を徹して市民の足を守る

拓北・あいの里地区除雪センター

— 除雪センターの基本的な仕事を教えてください。

椎木さん 冬の間、二十四時間体制で区域内の除雪作業を受け持ちます。出動時には、通勤・通学の時間帯までに作業を終えなければなりません。

— 札幌市の除雪方式「マルチゾーシ除雪」の特徴は？

椎木さん 札幌市は、全国の市で三番目に面積が広く、地域によって雪質や降雪量が異なるんですよ。そのため、市内を三十九の地区に分け、地域の実情に応じたきめ細かい除雪を行っています。

— 除雪作業で印象に残っている出来事がありますか？

椎木さん 地球環境のバランスが崩れているのか、近年、札幌の冬も、気象の変動が激しいような気がします。昨年の十二月は、観測史上最高の大雪が降ったかと思うと、その後大雨が降りました。おかげで路面がツルツルになり、転倒事故も過去最多だったそうです。

— 一転、今年の一月は記録的に雪が少なかったんですね。

椎木さん 天候が相手なので限界はありますが、皆さんの暮らしに極力影響が出ないよう、今年も雪が積もる前から、地域の道路状況を把握するなど万全の準備を整えています。

— 最後に、今年も雪の季節を迎える市民の皆さんに一言。

椎木さん できるだけ気配りをした除雪を心掛けていますが、玄関前などの間口の除雪は、市民の皆さんに協力をお願いしたいですね。

## 24年

市政世論調査の結果では、除雪に関することが二十四年連続で市政要望の第一位となっています。その内容は、生活道路の除雪や凍結路面対策に関する事など、多様化する傾向にあります。一方、同調査で「昨年からの設けた「よくやっていると思う施策」という問いでは、除雪に関するものが二年連続で第二位となっています。

## 平成21年度

平成二十一年度を目標年次とする「雪対策基本計画」の基本方針は、「冬期道路交通の円滑化と安全性の向上」「パートナーシップによる冬期生活環境の充実」「人と環境に優しい雪対策の実現」の三項目。長期的な視点で、効果的・効果的な雪対策を着実に進めています。

## 5,070 km

車道除雪は、幅八メートル以上の市道・道道を、歩道除雪は、幅二メートル以上で、バス路線や歩行者の多い道路を中心に行います。

この冬の除雪対象距離は、車道が五千七百七十七キロ、歩道が三千三百五十五キロ。市の管理道路における除雪率は、それぞれ96.4%、90.7%となります。

## ■今冬の除雪の主な重点項目

- バスレーンの車道幅と運搬排雪を強化します
- 交差点の排雪も強化します
- 3学期開始時まで、通学路の排雪を実施します
- 地下鉄駅、JR駅などの公共施設周辺で、凍結防止剤と滑り止め剤の散布を強化するとともに、歩行者用砂箱を拡充します